

## 第5節 ㊦佐賀家漁場及び当地方で使用された浮具について

網漁業に浮具は欠かせないものであり、ニシン漁場においては夫々の状況（潮の流れ・外海か内海か・海の深さなど）によって若干の差異があり、当地方ではその使用目的により、次のように分類することが出来る。

- 1) 浮子……漁網の上辺に取付け水面に網を浮かせ、又は水中に網を伸張するためのものをいい、使用する場所によって使い分けられる。

当地方での呼称	材質・大きさ・結付の方法・その他	使用する場所	備考
板アバ（板アンバ）	椴松・2寸×1尺2寸×6分 ・両端に2ヶずつ穴をあけ、トワインロープでアバ棚に直接結付する。	主として刺網に使用	
舟型アバ	椴松・4寸×1尺×5分～1寸5分 ・両端に2ヶずつ穴をあけ、トワインロープで棚網に取り付け、それを網に結付ける。	軀網及手網等に使用	
管アバ（桐アンバ）	桐・径約3寸の小丸太を木口切とし径の中央部に約5～6分の穴を通す。三子縄で結付ける。	同上の他、浮筋に使用	浮筋＝網を浮かすために、網に浮子を連続して結付したもの。
鉄玉	鉄・直径約3寸・中央に網を通す管がある。トワインロープ等で結付ける。	手網等に使用	
ガラス玉	硝子・直径2寸～4寸・網の袋で包み、トワインロープ等で結付ける。	手網等に使用	

- 2) 浮代……各種掛網（型枠を固定する網）及び上継ぎ網（手網を伸張するための伸網を固定する網）に浮力を付すためのもの。浮子・浮代は通常アバまたはアンバと呼ばれている。

当地方での呼称	材質・大きさ・結付の方法・その他	使用する場所	備考
平アバ（平アンバ）	松類・3寸5分×2尺5寸×1寸5分 ・両端に凹みを付け、トワインロープで掛網にアバ返し間隔で結付ける。	型網と掛網及上継ぎ等に使用	アバ返し＝アバの長さと同じ程度の間隔をいう
丸アバ（丸アンバ）	松類・2寸×2寸×2尺5寸の角または小丸太材を、トワインロープで掛網にアバ返し間隔で結付ける。	同上	
口前アバ	松類・巾8寸×長2尺8寸厚2寸の舟型アバ・両端に各2個の取り付け穴がある。ロープで口前アバ棚に取り付ける。アバの中央に穴を開け、そこに径約3寸、厚さ5分の滑車を取り付ける。サイ縄を通し口前網を開閉する。	口前アバ棚の中央及び口前両端の位置に取り付け。	口前ダンプともいう。

3) 浮標……網の所在を知るために用いられるものと、海面に設置する網（型網など）を伸張固定するためのもの、及び沈子に取り付けた索端を海面上に浮揚するためのものに分けられ、その使用目的により個々の呼称がある。

尚、浮標は通常ダンブ又はダブと呼んでいる。

当 地 方 で の 呼 称	材 質 ・ 大 き さ ・ 結 付 の 方 法 ・ そ の 他	使 用 す る 場 所	備 考
役ダンブ（角型）  （丸型）	松類・約1尺2寸×1尺×6尺の角材を面取し、 両端に5寸×1尺の角穴をあける。 ----- 松類・径約1尺×7尺の丸太材を一部削刻し、 5寸×1尺の穴をあける。	型網の4隅と突沖に取り 付け、型網を固定す る基準的浮標。	カモイダンブと もいう。中には 穴3ヶ～4ヶを 設えたものもあ る。
根ダンブ（角型）  （丸型）	松類・4寸×5寸角×4尺 ・以下役ダンブと 同じに3寸×6寸の穴を設う。 ----- 松類・径約7寸×4尺5寸 ・以下角型と同じ。	根網と掛網の境に取り 付け、型網及伸網を固 定する。	役ダンブともい う。
アルウケダンブ	松他・寸法は一定でない ・個体の一部に穴をあけ、ロープを通して索端 に固結する（その形によりタチダンブ、ボンデ ン、ナンバダンブなどの呼称がある）。	刺網投網時、その両端 に取り付ける。	
ナカダンブ	同上（その形によりナンバダンブ・ニシメダ ンブの呼称がある）。	刺網投網時、一放毎の 中間に取付ける浮標。	
網印	尺以上のガラス玉。	主として突沖及建元浮 標として使用。	

（運上 光彦）

